

3 - 3 館山における地殻変動連続観測(3)

Crustal Strain Observation at Tateyama Crustal Activity Observatory(3)

国土地理院地殻調査部

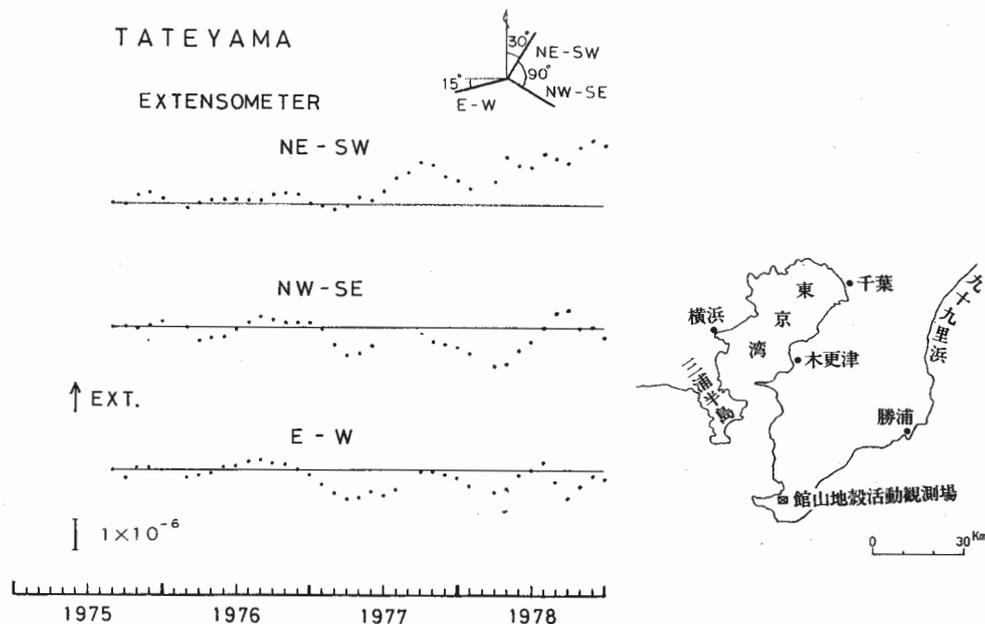
Crustal Dynamics Department, Geographical Survey Institute

第2報に引続き、館山地殻活動観測場における水晶管伸縮計による地殻活動について、1978年12月までの解析結果について報告する。

第1図は、伸縮計3成分の月平均値より求めた地殻変動を表わしたものである。NE - SW成分については、1976年9月まで変化は見られないが、その後、およそ 1×10^{-6} /年の割合いで伸びに変化している。NW - SE成分およびE - W成分については、特に変化は認められない。

参 考 文 献

- 1) 国土地理院地殻調査部：館山における地殻変動連続観測(1)，連絡会報 13 (1975)，50 - 51.
- 2) 国土地理院地殻調査部：館山における地殻変動連続観測(2)，連絡会報 15 (1976)，81.



第1図 館山における地殻伸縮

Fig. 1 Crustal strain at Tateyama (monthly mean values).